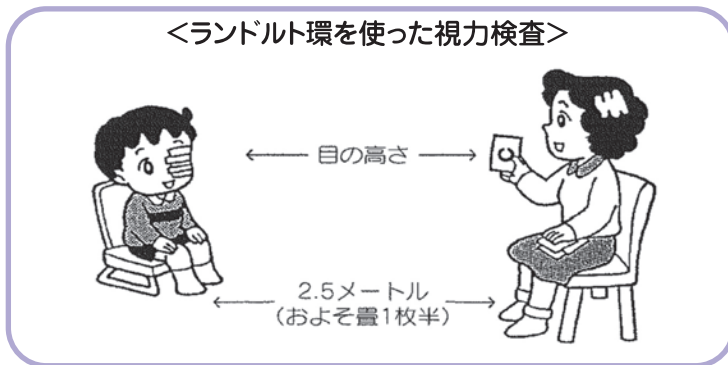


3歳児健康診査に目の屈折検査機器を導入します

子どもの目の機能は6歳頃にほぼ完成しますが、強い屈折異常(遠視、近視、乱視)や斜視があると目の機能の発達が遅れ、良い視力が得られません(弱視)。3歳児健康診査で視力の異常の早期発見をし、早期に治療を開始することが大切です。



※令和2年度中に屈折検査機器を取り入れます。健診時間が長くなることが予想されますが、ご協力をお願いします。

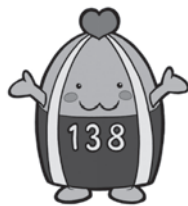
骨髄移植ドナー等助成事業がはじまりました ID 1033862

骨髄又は末梢血幹細胞移植は白血病等、血液の病気の重要な治療法のひとつであり、毎年多くの患者が移植を希望しています。しかし、実際に移植が受けられる患者は6割程度にとどまっています。

そのため、市では骨髄移植ドナーの負担を軽減し、骨髄等の移植の推進及び骨髄バンクドナー登録の増加を図るため、骨髄移植ドナー等助成事業をはじめました。

	対 象	助成額
ドナー	骨髄等の提供日に市内に住所を有し、(公財)日本骨髄バンクにドナー登録を行い、骨髄又は末梢血幹細胞の提供を行った方 ※令和2年4月1日以降に提供した人が対象	入院又は通院1日につき2万円 (上限7日間) ※ただし、令和2年4月1日分以降
事業所	上記対象ドナー(個人事業主を除く)が勤務している国内の事業所(国及び地方公共団体並びに独立行政法人、国立及び公立大学法人を除く)	入院又は通院1日につき1万円 (上限7日間) ※ただし、令和2年4月1日分以降

※他の地方公共団体等による骨髄等の提供にかかる助成金の交付を受けている場合は、交付対象となりません。



骨髄等の提供日から1年以内に、申請書類と(公財)日本骨髄バンクが発行する証明書、雇用を証明する書類(事業所のみ)を持参してください。申請書類など、詳しくは市ウェブサイトをご覧ください。

風しんの追加的対策について(男性の風しん) ID 1028775

風しんの流行を受け、特に抗体保有率が低い世代の男性は、国の追加的対策により風しん抗体検査を無料で受けることができます。検査の結果抗体がないと診断された場合、無料で予防接種が受けられます(市が発行するクーポンが必要です)。

- 対 象 者** 昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性
- 令和元年度は、昭和47年4月2日から昭和54年4月1日生まれの男性にクーポンを送りました。
 - 令和2年度は、昭和37年4月2日から昭和47年4月1日生まれの男性と、令和元年度のクーポン券で抗体検査を受診していない方に送付します。

令和2年度のクーポン券は5月下旬以降の発送予定です。
対象の方で早めに抗体検査の受診を希望される方は、中保健センター(☎72-1121)までご連絡ください。